

持続可能な未来を切りひらく ～環境教育の新たな可能性～

■ 講演趣旨

気候変動や SDGs への対応が急速に求められる現代、子どもたちが持続可能な未来の創り手として主体的に行動するための「環境教育（ESD）」は、学校経営における最重要課題の一つです。NHK スペシャル等の制作を通じて第一線で環境問題を見つめ続けてきた堅達氏をお迎えし、教科書教材に込められた想いや、ユネスコスクール等との連携、学校現場で今実践できる新たな可能性について、熱く語っていただきます。

【教育課程とのつながり・関連教材】

中学校「国語3」教科書（光村図書）：

「一人が踏み出す一歩は、実は大きな一歩」

高等学校「新論理国語」教科書（三省堂）：

「この十年をどう生きるか」

アニメ教材：地球温暖化を学ぶ「FUTURE KID TAKARA」

（文科省・ユネスコスクール連携、2025 年制作）



堅達 京子 氏

NHK エンタープライズ
エグゼクティブ・プロデューサー

■ 主な著書

『脱プラスチックへの挑戦』『脱炭素革命への挑戦』（山と溪谷社）

■ 主な公職・活動

日本環境ジャーナリストの会副会長、環境省中央環境審議会委員、文科省環境エネルギー科学技術委員会委員、東京都再エネ実装専門家ボード委員、東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員、福井県立大学客員教授、立教大学環境学部客員教授、学習院大学非常勤講師。

【プロフィール】

福井県永平寺町生まれ。早稲田大学・ソルボンヌ大学留学を経て、1988 年、NHK 入局。報道番組のディレクターとして NHK スペシャルやクローズアップ現代を制作。2006 年よりプロデューサー。NHK 環境キャンペーンの責任者を務め、気候変動や SDGs をテーマに多くのドキュメンタリーを制作。2021 年、NHK エンタープライズに転籍。NHK スペシャル「2030 未来への分岐点」、特集「渋沢栄一に学ぶ SDGs」「脱炭素へのロードマップ」、「気候変動を食い止めろ!」、国連や民放と連携した「1.5℃の約束」などを放送。